

2023年4月24日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行

## 次世代放射光施設「ナノテラス」への寄付について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、仙台市に対して、東北大学・青葉山新キャンパス内に建設する次世代放射光施設「ナノテラス」の事業支援を目的に、1億円を寄付（以下 本寄付）いたしました。

MUFGは、これまで「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」の設立<sup>[1]</sup>や、仙台市などの地方公共団体・企業の皆さまとの協働を通じて、東日本大震災からの復興と地方創生に取り組んでまいりました。

ナノテラスは、国内初の官民地域パートナーシップ<sup>[2]</sup>の枠組みで、国・地域・民間企業が共同で推進する世界最先端の研究施設です。研究分野は多岐にわたり、創薬や医療技術、省エネや環境保全、食の安全など、幅広い分野での活用が期待されています。また、ナノテラスを中心に産学連携でのリサーチコンプレックスの形成は、東日本大震災からの復興における新たな価値創造に資するプロジェクトと位置付けられております。

MUFGでは「世界が進むチカラになる。」のパーパス（存在意義）の下、優先的に取り組む10の環境・社会課題を特定しており、本件は「産業育成・イノベーション支援」や「健康への脅威の克服」、「気候変動対応・環境保全」に関する課題解決に資する支援として位置付けています。当行は、本寄付を通じて、世界最先端の施設であるナノテラスの活用を後押しし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

[1] 「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」の設立については、以下のリンクをご参照ください。

[https://www.bk.mufg.jp/emg\\_info/test/pop\\_kikin\\_110706.html](https://www.bk.mufg.jp/emg_info/test/pop_kikin_110706.html)

[2] 国の主体である量子科学技術研究開発機構と地域パートナー（光科学イノベーションセンター、宮城県、仙台市、東北大学、東北経済連合会）を中心に、2024年の稼働を目指して建設が行なわれています。

以上